

平成28年度 第2回窪田空穂記念館運営委員会 会議概要

- 1 日時 平成28年11月17日(木) 午後1時30分～2時45分
- 2 会場 窪田空穂生家
- 3 委員出席者 飯沼秀文委員、折井理智子委員、上條宏之委員、来嶋靖生委員
坂口登美子委員、石井良治氏(柳澤厚志委員代理)
※欠席：窪田武夫委員、篠弘委員、渡邊正明委員
- 4 事務局出席者 関沢事業担当課長、長澤補佐、勝野分館長、高山主任

5 会議の概要

- (1) 開会
- (2) 委嘱状交付・正副委員長選出
- (3) 運営委員長挨拶(上條委員長)
- (4) 議事

① 平成28年度中間事業報告

○短歌講座について

(委員) 長く続けてきた事業であるが、人数がだんだん減っているのが残念である。講師の人選なども考えてはいるが、名案がない。参加者50人は確保したい。

○企画展について

(委員) 「老いてなお輝く一空穂翁のメッセージ」は良いテーマだった。短歌界でも老いの問題は大きなテーマになっている。東京でも、いい企画だったと耳にした。

(委員) 戦争と平和展で茂二郎を取り上げてくれたのは、ありがたいことだった。

○「松本の子どもの短歌・2016」について

(委員) 約7千首の短歌に目を通すのは、選者からは苦しいと言われているが、学校の先生にある程度の選別を依頼する訳にもいかない。これだけ多くの子どもたちが短歌に関心をもってくれるのはうれしい。短歌に触れ、理解を得る機会にしたい。

○空穂生家子ども教室について

(委員) 百人一首教室では、地元の高齢者に声をかけてみるのも良いのではないか。

○その他

(委員) 裏千家青年部会では生家を利用させてもらった。部会の人たちは、心地よい雰囲気の中で講習会とお茶会ができたと言っていた。何かあれば、また声をかけて欲しい。

② 平成29年度事業計画

○企画展「若き君たちへ」について

(委員) 空穂の校歌を見直す良い機会となるため、良いテーマだと思う。

(委員) テーマが柔らかくて良いと思う。

(委員) 高綱中学校でも日頃から空穂作詞の校歌を歌い、空穂の理念も意識されている。

(委員) この機会に、空穂作詞の校歌を音と映像で残すのも良い。

○その他

(委員) お茶の入れ方を教えたり、他国のお茶と比較したりする講座なども面白いのではないか。

(委員) 近年、地元の歴史を勉強したり、見直したりする人が少なくなっている。そうした意味で記念館は地域拠点としての意味も大きい。

(委員) 芝沢小学校、高綱中学校とは交流を深めてもらっており、ありがたい。松本大学や信州大学など、研究面でも関係を繋げていきたい。

(委員) 講座なども、より裾野を広げていけたら良いと思う。